

「加賀市農林水産業振興行動計画（案）」 に対する意見募集結果について

「加賀市農林水産業振興行動計画（案）」について、意見公募（パブリックコメント）を行ったところ、下記の通り、ご意見が寄せられましたので、お知らせいたします。

記

【公募案件の概要】

案件名	「加賀市農林水産業振興行動計画（案）」に対する意見募集 について
公募期間	令和2年2月17日（月）～ 令和2年3月2日（月）
供覧資料	加賀市農林水産業振興行動計画（案）
周知方法	市ホームページのほか、農林水産課、山中温泉支所、各出張所、 各図書館、各地区会館にて資料を供覧
提出方法	メール、郵送、FAXにて農林水産課へ提出

【公募結果】

10件（4名）より意見提出があった
詳細は以下の通り

「加賀市農林水産業振興行動計画（案）」に対する意見一覧

番号	ご意見	市の回答
1	<p>農業について、農耕車両・農機具が高く、経営を圧迫する農機具購入の補助が必要ではないか。</p>	<p>農機具等の補助について、国の補助事業であります「強い農業・担い手づくり総合支援事業」にて、農業経営の拡大や所得向上に向けて意欲のある個人・法人が計画する施設更新や機械の導入に対し、30%以上の補助等の支援を行っております。</p> <p>今後の自立的な営農を考えると、市単独の補助事業は考えておりませんがスマート農機の導入等の先進的な取り組みの支援については検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>林業について、需要の拡大、地元材の購入に対して補助が必要ではないか。</p>	<p>現在、県において、石川森林環境税を活用した「いしかわの森でつくる住宅推進事業」により、県産材を使用した住宅の新築・増改築等に対して補助する制度があり、木造住宅の建築には可能な限り、県産材が活用されていると聞いています。また、市におきましても、地区会館や市営住宅などの公共施設の建設には、県産材の活用を積極的に進めているところであります。</p> <p>今後も地元産建材の需要拡大や購入を誘導する取り組みについては、県や市の建築担当課、かが森林組合等と連携してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>漁業について、水産加工品の拡大、缶詰、干物等の加工食品開発に対する補助が必要ではないか。</p>	<p>水産加工品に限らず、新たな商品を開発される場合の補助制度として、市の中小企業支援制度に【新商品開発助成事業】がありますので、この制度をご検討されるよう進めてまいります。</p>

4	<p>販売のできる「道の駅」の設置を行い、直接農家からの販売の機会をつくる必要があるのではないか。</p>	<p>現在、直接農家からの販売ができる場として、「JA グリーン加賀元気村」などがあります。生産者や生産物のPRも含めた販売方法など、元気村のさらなる活用方法などについては、JA 加賀と連携して検討してまいりたいと考えております。</p>
5	<p>高付加価値農産品等の生産推進とあるが、農産品等の高付加価値化は具体的にどう行っていくのか。</p>	<p>食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組である GAP などの国際認証取得を目指す事業者への支援やスマート機器等を活用した栽培の実証・実装をすることで高付加価値化を行いたいと考えております。</p>
6	<p>高付加価値農産品の中で有機農法により生産された農産品が挙げられているが、有機農法のPRはどのように行っていくのか。</p>	<p>現在、市内で有機農法を取り組んでいる団体が海外展開を視野に入れており、有機 JAS マーク認証やグローバル GAP 認証取得に向けた支援を行っていきます。</p> <p>海外展開の周知・広報により、有機農法による生産物の増加を図りたいと考えております。</p>
7	<p>地産地消について、今後の取り組みなどどのように行っていくのか。</p>	<p>地産地消に関しては、現状、JA加賀が市内19校の小学校に営農指導員や組合員の農家を派遣し、小学生に農業体験学習（あぐりスクール）を行うことで、地元農産物への親しみや農業への理解を深めてもらう取組みを行っており、最終的には地産地消や将来の担い手不足解消に繋げていきたいと考えております。</p> <p>あぐりスクール以外の取組みについても今後、協議会において検討してまいりたいと考えております。</p>

8	<p>加賀地域医療支援センター 山中温泉ぬくもり診療所には、真水の温泉がきているが、温泉熱を利用してIoT 技術を活用した花、いちご、野菜などの栽培ができないか。</p>	<p>富山県富山市の牛岳温泉の熱を利用した植物工場では、温泉熱が58度程度あり、暖房として利用していると聞いています。</p> <p>山中温泉ぬくもり診療所では30度程度と聞いておりますので今後、どのような作物が栽培できるか研究してまいりたいと考えております。</p> <p>また、山中温泉ぬくもり診療所の温泉熱の利用だけでなく、山代・山中・片山津の3温泉の温泉熱を利用した栽培について、産学官連携しながら今後、調査・研究していくことを計画に追記しました。</p>
9	<p>新たな生産物の試験栽培導入のような事を継続していくことが必要ではないか。</p>	<p>本計画では、加賀市らしい持続可能な農林水産業を目指し、スマート機器等を活用した生産性の向上による費用の軽減と、市の自然環境や歴史文化を活用したブランドイメージを構築するなどにより生産物の高付加価値化を図るとともに、観光業や飲食業、建築などの分野とも連携して、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。その中で、消費者ニーズに合った新たな生産物の開発や生産なども考えていきます。</p>
10	<p>計画で表記している【ポテンシャル】という単語は一般の方には分かりにくい文言ではないか。</p>	<p>本計画で表記している【ポテンシャル】は、「自然環境や歴史文化に育まれた可能性やこれまでに培った潜在能力」などの意味合いで使用しており、幅広い部分を表現するために【ポテンシャル】と表記したものであります。</p> <p>今後も、わかりやすい文書に配慮してまいりたいと考えております。</p>